

# おぎのやすお 荻野泰男

所沢市議会議員[保守系無所属] 市政リポート April, 2015 Vol.49  
 (納得できる所沢市政を!!) www.oginoyasuo.com



## 議員の最大の使命は “公式の場”で発言するということです。

地方議会の主な役割は、一般的に「行政のチェック」と「政策の提言」の2つであるといわれています。荻野泰男は議会の一員として、「発言なくして成果なし!」という思いを胸に、2期目の任期も全ての定例議会(計16回)で一般質問を行い、本会議での発言回数は昨年12月の時点で**643回**(全35議員中**第1位**)を数えました。その結果、1期目以上に議会の場で行ってきた多くの提案が実現に至ったことは、市民の皆様からの後押し、市職員の

方々のご尽力、そして議会関係者のご理解などがあったからこそであると心より感謝しています。そこで、2期8年の間に実現に至った事案や取り組みの成果の一部を紹介させていただきます。

\*「一般質問」とは…議員が市の行政全般にわたり、市長等(市の執行機関)に対し事務の執行状況、将来に関する方針等についての質問を行ったり、報告や説明を求めたりすることをいいます。所沢市議会の場合、各定例会において1議員あたり1時間(答弁時間を含む)の持ち時間の中で行うことができます。



## 【一般質問において取り上げ、実現に至った主な事案】

### 1期目

平成19年度～平成22年度

●「赤ちゃんの駅」の整備  
 (注1)「赤ちゃんの駅」とは、子育て家庭が気軽に外出できるように、公共施設や保育園等において授乳やオムツ交換ができるスペースや設備を提供するものをいいます。所沢市内には埼玉県による指定も含め約170施設に設置されています。



- 新型インフルエンザ対策行動計画、業務継続対応マニュアルの策定
- 市職員の民間企業(株式会社資生堂)への派遣、民間企業等経験者の採用
- 市職員採用関連情報(先輩職員の声など)の充実

- 市職員採用面接への民間人試験委員の導入
- 市ホームページの検索機能の改善
- 地区別ごみ収集カレンダーの市ホームページへの掲載

これは便利!!



- ごみ分別辞典の冊子化、市ホームページへの掲載
- 「YouTube」(ユーチューブ)を利用した市政情報の動画配信 YouTube

- 「自治会・町内会の便利帳」の内容改善
- 市職員の名刺を活用した「所沢航空発祥100周年」のPR
- 市長によるタウンミーティングの実施(当摩市長当時)
- 公園におけるシニア向け健康遊具の設置(航空記念公園等)



- 「埼玉県地域子育て応援タウン」への認定
- 市民税等へのコンビニ収納の拡大
- 第2市民ギャラリーの期日前投票期間の延長

### 2期目

平成23年度～平成26年度

- 運転免許自主返納者に対する住基カード、ところバス乗車券の無料交付
- 「埼玉県シルバーサポーター制度」の協賛事業所(タクシー事業者含む)の拡大  
 (注2)「埼玉県シルバーサポーター制度」とは、運転免許証を自主返納した高齢者が、サービス店として登録されている店や事業所等で様々なサービス(料金割引・宅配・送迎・休憩等)が受けられる制度のことをいいます。

- 中学生海外文化交流派遣事業の再開  
 (注3)所沢市では、中学生をシンガポールに派遣する事業を行っていたところ、平成21年度は

新型インフルエンザの流行、22年度は財政的事情を理由に休止されました。そこで、国際社会に対応できる人材育成の観点から、市教育委員会に対し、事業の再開を強く求めたところ、23年度から3年ぶりに事業が再開されました。

- 市総合計画と中長期財政計画の計画年度の統一
- 市職員の採用試験内容の見直し、採用関連情報の充実
- 各部長等による組織目標(マニフェスト)の掲載方法の改善
- 事業所操業環境状況調査(製造業事業所を対象とした実態調査)の実施
- 工業立地に関する奨励金制度の導入
- 産業振興を目的とする基金の創設

- 観光PR映像(所沢の魅力紹介映像)の制作



- 記者会見用バックパネル(インタビューボード)の制作



- テレビドラマ等と市イメージキャラクターとのタイアップ

- 事業所による地方税電子申告システム（エルタックス）の導入
- 市有施設における自動販売機の設置に関する要綱の制定
- パブリックコメント（意見提案）手続の簡略化、市メールマガジンでの紹介
- 市民活動支援センターのフェイスブックページ開設
- 介護保険サービス事業所情報の冊子化（ハートページ）
- 「介護マーク」の作成、配布

（注4）「介護マーク」とは、「トイレに付き添うとき」や「男性介護者が女性用の下着を購入するとき」など、介護をする方が認知症高齢者等の介護をしていることを周囲に知らせ、介護者の心理的負担を軽減して介護支援を行いやすくするために作成されたマークのことをいいます。



- 「広報とろざわ」の中吊り広告風ポスターの作成、掲示



- 市メールマガジン（とろざわほっとめーる）のコンテンツ充実（広報紙の内容紹介、選挙開票速報通知など）
- 選挙公報の市ホームページへの掲載
- 「家庭の資源とごみの分け方・出し方」への広告掲載



- 電気自動車（EV）用充電設備の設置（市民体育館）



- 空間放射線量測定器の各まちづくりセンターでの貸し出し
- 狭山ヶ丘サービスコーナーにおけるところバス特別乗車証の交付
- 使い捨てライターの拠点回収の実施
- AED（自動体外式除細動器）の設置に関する情報提供の充実

- 「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」への参加

（注5）「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」とは、プリンターメーカーなどが共同で実施しているリサイクル事業であり、回収されたカートリッジは、仕分け後、各メーカーによってリユースや再資源化されます。所沢市では本庁舎など市内6か所に回収ボックスが設置されました。

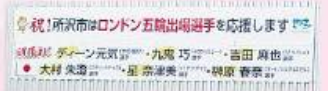


- 公園における防災機能の強化（航空記念公園でのかまどベンチ等の設置）



- 樽井戸川（靴谷地内）における「ふるさとの川再生事業」の看板設置

- 市ゆかりのロンドンオリンピック・パラリンピック代表選手に対する激励



- 市ゆかりのソチオリンピック代表選手（羽生結弦選手を含む）に対する激励

- 市民体育館開館10周年記念事業の実施

- 市民体育館内の「春の高校バレー」開催記念の展示



- 「春高バレー」会場における地元特産品の販売

- 厚生労働省が提唱する「スマートライフプロジェクト」への参加

- 受動喫煙対策に関する情報提供の充実

- 「赤ちゃんの駅」に関する情報提供の充実

- 老人憩の家・みかじま荘への通信カラオケの導入

- 東急東横線との相互直通運転開始を契機とする、西武鉄道の車両広告を活用した所沢市のPR



今任期中の本会議での発言回数は、計**643**回（平成26年12月現在）に！！

順位	議員名(会派)	平成23年度				小計	平成24年度				小計	平成25年度				小計	平成26年度				小計	合計	
		6月	9月	12月	3月		6月	9月	12月	3月		6月	9月	12月	3月		6月	9月	12月	3月			
1	荻野 泰男	35	37	43	50	165	39	41	38	51	169	44	47	42	48	181	40	41	47	-	128	643	
2	Y 議員(共産)	31	31	53	54	169	41	39	26	49	155	28	39	48	37	152	47	50	36	-	133	609	
3	K 議員(至誠)	41	45	46	84	216	2	副議長				2	62	55	51	57	225	46	52	56	-	154	597
4	W 議員(共生)	36	26	41	30	133	44	43	40	51	178	36	33	36	43	148	31	33	44	-	108	567	
5	I 議員(民主)	30	31	38	41	140	48	36	39	44	167	31	35	37	37	140	35	36	39	-	110	557	
6	S 議員(民主)	51	28	45	31	155	43	40	33	39	155	18	39	27	26	110	38	35	43	-	116	536	
7	K 議員(共産)	35	31	27	41	134	33	33	39	45	150	39	32	26	40	137	26	45	36	-	107	528	
8	A 議員(共産)	22	31	28	48	129	42	51	4	43	140	34	43	37	32	146	31	33	29	-	93	508	
9	T 議員(改革)	29	22	36	36	123	29	32	37	38	136	29	27	30	46	132	36	26	35	-	97	488	
10	S 議員(民主)	22	31	26	36	115	28	32	34	41	135	28	40	32	23	123	34	38	36	-	108	481	
11	S 議員(共産)	27	31	30	57	145	17	26	33	50	126	0	28	32	45	105	31	38	21	-	90	466	
12	M 議員(改革)	18	32	40	46	136	32	35	37	33	137	28	5	42	34	109	36	7	35	-	80	462	
13	H 議員(共産)	30	25	35	41	131	26	36	35	42	139	30	30	35	32	127	24	31	6	-	61	458	
14	A 議員(民主)	33	6	34	18	91	33	32	11	53	129	37	38	37	18	130	35	39	28	-	102	452	
14	S 議員(至誠)	45	34	23	57	159	42	38	39	51	170	4	5	7	8	24	33	35	31	-	99	452	

※上の表は「所沢市議会会議録検索システム」に基づき、各議員の本会議における発言回数を独自に集計し、その一部を抜粋したものです。発言の中には、主に一般質問、議案質疑、委員長報告、討論等が含まれますが、議長としての発言はカウントされていません。また、議長、副議長、議会運営委員長は慣例として一般質問や議案質疑は行わないことになっています。

**議員**になるということは、本会議や委員会をはじめとする“公式の場”で発言できる機会が与えられることを意味します。議員という存在は、“パフォーマンス型”や“セレモニー型”などを含め、さまざまなタイプに分類することができますが、荻野泰男は“実務型議員”でありたいと考えています。これからも「たとえ一歩でも現状から前進させたい」「どんな小さなことでも改善していきたい」という思いを胸に、発言の機会を決して無駄にすることなく、常に感謝の気持ちと謙虚な姿勢、そして公のために尽くしているという自負心を忘れず、所沢で生活する全ての人々がもっと元気になり、市民の皆様が「納得できる所沢市政」の構築に向け、微力ではありますが、全力で取り組んでまいります！！

**プロフィール**  
 ●1970(昭和45)年2月3日、所沢市生まれ。血液型O型。●1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。●松竹(株)勤務。慶州・メルボルン留学などを経て、現在社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー(CFP認定者)。●行政書士、防災士、日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート、TOEICテスト885点などの資格を保有。●所沢市議会議員(2期)。市民環境常任委員会委員長、建設水道常任委員会副委員長、議会基本条例制定に関する特別委員会副委員長、広報広聴委員会副委員長などを歴任。●NPO法人「田中秀征の民権塾」塾生・所沢商工会議所青年部会員・所沢明生病院地域評議員。

